

年間授業計画

伯江 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科：家庭科 科目：家庭基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 8組

教科担当者：

使用教科書：（「家庭基礎 自立・共生・創造」東京書籍/「Life Design 2026」実教出版）

教科 家庭科 の目標：

知識及び技能	人間の将来にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技術を身につけるようにする。
思考力、判断力、表現力等	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
学びに向かう力、人間性等	さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会のかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技術を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	これからの人生について考えてみよう 【知識及び技能】 自分や人の一生についての考えをまとめる。 【思考力、判断力、表現力等】 社会の状況を考えながら、自分の生活や将来についての考えをまとめ、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の生活や将来について考えることに意欲をもって取り組む。	・指導事項 自分の未来予想図を描こう これからの人生をデザインする ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人一台端末の活用	【知識・技能】 自分や人の一生についての考えをまとめることができる。 【思考・判断・表現】 社会の状況を考えながら、自分の生活や将来についての考えをまとめ、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の生活や将来について考えることに意欲をもって取り組もうとしている。	○	○	○	2
	自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 生活にかかわる労働の意義、労働環境、結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 労働の意義や役割、家族・家庭に関する課題・問題点について、新聞・書籍などの資料から情報を収集し自らの考えをまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 労働の意義や役割、結婚、家族・家庭の形、家庭・家族の役割について、自分とどうかわっているのか、興味・関心を持たせる。	・指導事項 自立と共生 ライフキャリア 共に生きる家族 家族に関する法律 ・教材 教科書・資料集、プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 生活にかかわる労働の意義、労働環境、結婚、家族・家庭の意義や機能について理解できる。 【思考・判断・表現】 労働の意義や役割、家族・家庭に関する課題・問題点について、新聞・書籍などの資料から情報を収集し自らの考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 労働の意義や役割、結婚、家族・家庭の形、家庭・家族の役割について、自分とどうかわっているのか、興味・関心を持ち取り組んでいる。	○	○	○	8
	食生活をつくる 【知識及び技能】 日本の食文化、食事の意義や役割、食生活を取り巻く環境などについて現代の食生活の課題が理解できる。栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての行動や判断が出来るようにする。 栄養や食品、調理に対して科学的な思考をもって実際の食生活を改善することが出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身の食生活に関心を持つとともに、食生活について意欲的に改善・向上に努める。また、調理実習において、積極的に参加し、班員と協力して効率的に作業することが出来るようにする。	・指導事項 日本の食文化の形成 私たちの食生活 栄養と食品のかかわり 食品の選び方と安全 食事の計画と調理(調理実習含む) これからの食生活を考える ・教材 教科書・資料集・プリント・デジタルコンテンツ等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 日本の食文化、食事の意義や役割、食生活を取り巻く環境などについて現代の食生活の課題が理解できる。栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思考・判断・表現】 自分自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決に向けての行動や判断が出来るようにする。栄養や食品、調理に対して科学的な思考をもって実際の食生活を改善することが出来るようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身の食生活に関心を持つとともに、食生活について意欲的に改善・向上に努める。また、調理実習において、積極的に参加し、班員と協力して効率的に作業することが出来るようにする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
夏 期 休 業	ホームプロジェクト	レポート作成 発表	家庭科で学んだことを中心に自分で関心のあること、またそこから見えてくる課題を探し、それに対する解決策を考える。	○	○	○	

